

シニアホーム紹介サービスを通じて入居を選択した介護家族の実態を紹介する 介護家族「心の介護」の大切さを届ける『笑美面インパクト通信』10月号を発行

シニアホーム^{※1} 紹介事業の株式会社笑美面(本社:大阪市西区)は、ニュースレター『笑美面インパクト通信』10月号を2025年10月6日に発行しました。当ニュースレターは、「シニアホーム紹介サービス」を利用し、大切な家族の入居を選択した介護家族の生活の変化「介護家族の入居エピソード」などを紹介しています。

第3号となる10月号では、笑美面のシニアホーム入居支援実績データから見る相談から入居までの期間、入居に伴うキーパーソン属性結果、入居支援を行うコーディネーターを対象にした社内研修を紹介しています。当社代表の榎並と緩和医療専門医 山口崇医師との対談を実施したことにも触れています。

当社は昨年、3,350人の入居を支援。実績の約4割近くが1カ月以内といった緊急度高いシニアホーム入居を余儀なくされています。その決断を高齢者本人ではなく、「子世代」が決断を迫られている現実が確認できています。こうした背景からも、当社は従来のALP(＝暮らしに関する希望)に加えて、ACP(＝医療・ケアに関する希望)についても理解を深めたいと考え研修を実施しました。

※1 シニアホームとは:当社が主に紹介する有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅およびグループホームをまとめて示す。

<『笑美面インパクト通信』について>

■発行元:株式会社笑美面 インパクト推進チーム

■発行日:毎月6日予定

■発行対象:病院で退院支援などを担うメディカルソーシャルワーカー、ケアマネジャーなどが在籍する居宅介護支援事業所、高齢者の相談窓口「地域包括支援センター」、シニアホーム運営事業者などの取引先、スタッフなど

■内容:介護家族の実態や入居エピソードなど、事業を通じて出た人や社会に対するポジティブな変化(インパクト)を取り上げます

■株式会社笑美面(えみめん) 事業概要

日本初のインパクト IPO 企業として、超高齢社会が抱える「介護家族の負担」と「シニアホームに関する情報不足」という課題に向き合い、事業を通じて介護家族にとって「シニアホーム介護の利用が『ポジティブ/当たり前』になっている状態」をつくり出すことで、家族が「心の介護」に向き合い、高齢者が笑顔でいられる社会の実現を目指しています。

<シニアホーム紹介サービス>

シニアホーム入居を検討する本人や介護家族向けに、独自の取り組み、豊富な知識と経験を持つコーディネーターによる丁寧なカウンセリング「家族会議」を実施し、納得できるシニアホーム選びから入居までをトータル支援。

<ケアプライムコミュニティサイト運営>

シニアホーム運営事業者向けに、コミュニティサイトの運営を通じて、介護家族が安心して入居を選択できるためのシニアホームサービスの質向上を支援。

- ・社 名:株式会社笑美面(えみめん) /証券コード 9237(東証グロース)
- ・代 表 者:代表取締役 榎並将志
- ・本 社 所 在 地:大阪府大阪市西区京町堀 1-8-33 京町堀スクエア 4F
- ・創 業:2010年9月
- ・資 本 金:270,276,580円(2025年7月末現在)
- ・従業員数(連結):185名(2025年9月1日現在)
- ・公 式 サイト:<https://emimen.co.jp/>



note

ご家族の入居決断とその後の生活変化
「心の介護」入居エピソードなどを配信中
<https://emimen.co.jp/media/>

＼心の介護のリアルを届ける／

えみめん

笑美面 インパクト 通信

発行元：株式会社笑美面 インパクト推進チーム

vol.3 2025年10月号

笑美面は、本人や介護家族が「自分らしく生きる」ことができる入居支援をより充実させるために、9月から「ACPとALP」の両輪を強化する取り組みをスタートしました。今月のインパクト通信では、その取り組みと当社の入居エピソードを紹介します。

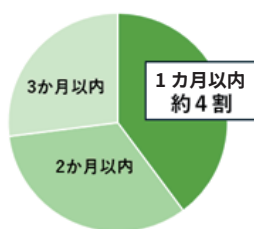
「インパクト」とは、事業や活動によって生じる社会的・環境的にポジティブな変化や効果を指す

笑美面 NEWS

シニアホーム紹介事業者「笑美面」昨年 3,550 人の入居支援実績から

短期間で子世代が入居を決定している現状が明らかに

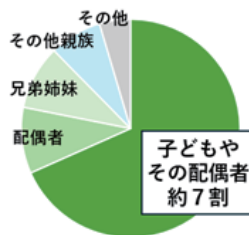
相談から入居までの期間



1カ月以内の
入居ケースが4割

一週間以内の緊急入居も多数
ホーム運営事業者との強固な
関係性があるため可能

入居のキーパーソン



入居決定者は家族
(子世代)が7割

※グラフ出典：笑美面2024年10月期入居実績より

限られた時間の中でも 入居後も「自分らしく生きる」を叶えるために

笑美面は、ACPの取り組みを9月から強化しています！

① 緩和医療専門医 山口医師による「ACP 社内勉強会（オンライン）」を開催

コーディネーターが
ACPの理解を深める

&

「本人の意思」をホームに
引き継ぐ重要性を再確認

■勉強会に参加した当社コーディネーターの声（アンケート回答から一部抜粋）

ACP/ALPについて、笑美面の本人様・家族様との関わり方を再度考えさせられる研修になった。

ACP、ALPの大切さを改めて考え直す機会を得られ、コーディネーターという立場からどう向き合えばいいかを再認識できた。

普段直接話を聞くことのない、医師目線での話をきかせていただくことができ、家族会議の質の向上の必要性を改めて感じることができました。

ご本人様が望んでいる事に今後より注目してヒアリングを行い少しでも自分らしく生きることを体現化できる未来図づくりをお手伝い出来るようにしたいと感じました。

② 笑美面 榎並社長 × 緩和医療専門医 山口医師による対談

対談で再確認した笑美面の役割とは：

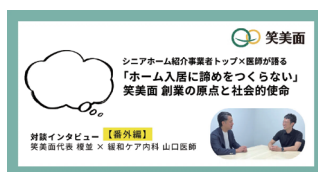
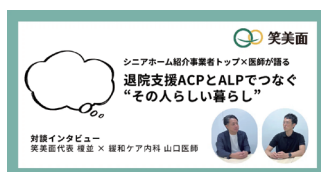
病院でのACP（医療・ケアに関する希望） & ALP（暮らしに関する希望）をシニアホームにつなぐこと



note

◀詳しい対談内容は

「笑美面公式 note」をご覧ください



「心の介護」入居エピソード

当社サービスを通じて、入居を選択した本人やその家族のエピソードを紹介



介護家族「心の介護」入居エピソード 7

急激な認知症進行に向き合った娘の決断と心の介護のかたち



入院がきっかけの急激な認知症進行に向き合った娘の決断と、心の介護のかたち

「仕事を休まずに済んだ」
「近くなのでこまめに会いに行けます」

入院をきっかけに急激に認知症が悪化した94歳 母親の入居相談。パニック状態の相談者(娘)から「すぐに入れるところを探してほしい」という連絡を受け、すぐに対面相談「家族会議」を実施。相談者の不安に寄り添い「どんな環境なら母も穏やかに過ごせるか」などを丁寧に聞き取り、近さ・見守り体制・医療連携体制に力を入れるシニアホームを提案。相談から4日後入居のスピード対応のなかでも、「心の介護」に専念できるように希望を叶える入居を実現したエピソードです。

#介護施設

#認知症介護

#親の介護

#家族会議



介護家族「心の介護」入居エピソード 21

隙間時間のアルバイトをしながら両親を介護してきた30代の息子親子それぞれの再出発



「あんな父親だったけど、楽しそうな姿が見れて…」ヤングケアラーの新たな一歩

「あんなひどい父親だったけど、楽しそうにしている姿が見れてよかったです。ありがとうございます」

暴言などを理由に週4のデイサービスから「継続不可」が出た父親。約1カ月後に老健退居予定の認知症の母親。両親揃っての同時入居を支援しました。入居を拒否する父親に納得してもらえる入居を叶えるため、関係者と連携。最終的に父親の人となり、「真の希望」を引き出すことで、ポジティブな入居が叶いました。両親の介護をするため、自身の生活を犠牲にし、隙間時間のバイトで生計を立てていた相談者(息子)も救ったエピソードです。

#ヤングケアラー

#ビジネスケアラー

#介護家族

#両親の介護



note

フォロー・スキ♥を頂けますと励みになります！

当社の「シニアホーム紹介サービス」を通じて、介護家族がどのように大切な家族の入居を決断し、どんな変化があったのか。そんなリアルな「心の介護」入居エピソードを中心にお届けしています。

株式会社 笑美面 シニアホーム探しのご相談はこちらまで

☎ 0120-952-305 ※通話料無料

発行元住所：大阪府大阪市西区京町堀 1-8-33 京町堀スクエア 4F

えみめん

検索

<https://emimen.co.jp/>



お電話・ご相談
すべて
無料

東名阪 + 福岡で
13オフィス



証券コード9237



(高住連)高齢者向け住まい紹介事業者届出公表制度 届出番号:20-0078

